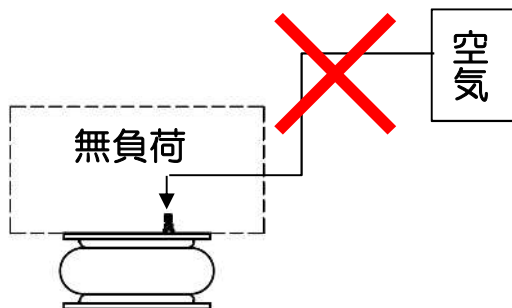


# 空気ばね PSBシリーズ 使用上の注意

**禁止事項**：ご使用の際は、下記の項目にご注意ください

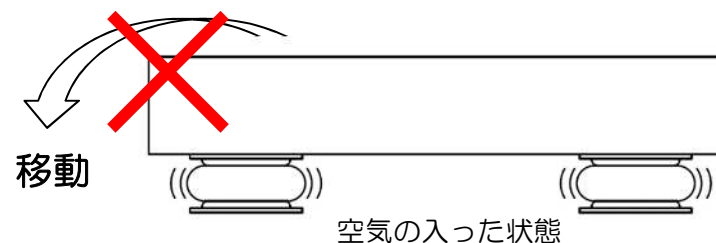
**空気ばねが無負荷の状態では絶対に空気を入れない**  
**ください。**

空気ばねが破損することがあります。



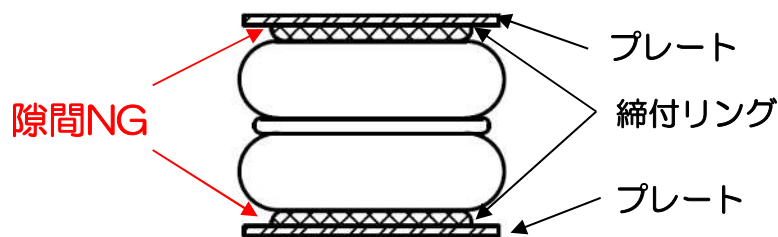
**機器から空気ばねを外したり、機器を移動する場合は必ず空気を抜いてから行ってください。**

空気が入った状態で行くと、空気ばねの破損や重大な災害につながる恐れがあります。



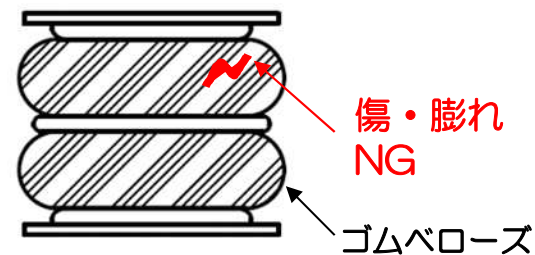
**空気ばねの締付リングにプレートを取り付ける際は、全てのねじを締結し、締付リングとプレートに隙間がないことを確認してください。**

隙間があると空気が漏れたり空気ばねが破損することがあります。



**ゴムベローズ部に補強コードまで達する傷や異常な膨れが発生した場合は直ちに使用を中止し、空気ばねを交換してください。**

空気ばねの破損や重大な災害につながる恐れがあります。



# 空気ばね PSBシリーズ 使用上の注意

**禁止事項**：ご使用の際は、下記の項目にご注意ください

**空気ばねの高さは、カタログ値に記載の範囲外で使用しないでください。範囲外での使用とならないように必ずストッパーを設けてください。**

空気ばねが破損することがあります。

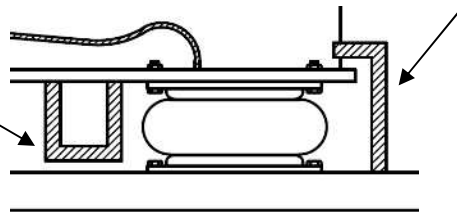
<取付け例>

下限ストッパー

空気ばねの高さが最小高さ以下にならないように設ける。

上限ストッパー

空気ばねの高さが最大高さ以上にならないように設ける。



下記の条件に該当する機器には、**防振用途**で空気ばねを使用しないでください。

空気ばねの破損や重大な災害につながる恐れがあります。

- i) 機器の使用回転数（あるいは使用ストローク数）が、空気ばねの固有振動数3～6Hzに近い場合。  
※たとえば、500rpm以下のプレスがこれに該当します。
- ii) 起動時、停止時の回転数の上昇、下降が非常にゆるやかで、共振状態が長く続く機器の場合。
- iii) i)には該当しないが、機器の加振力が強大で、その結果、常用回転数において、空気ばねの振幅が過大となる場合。

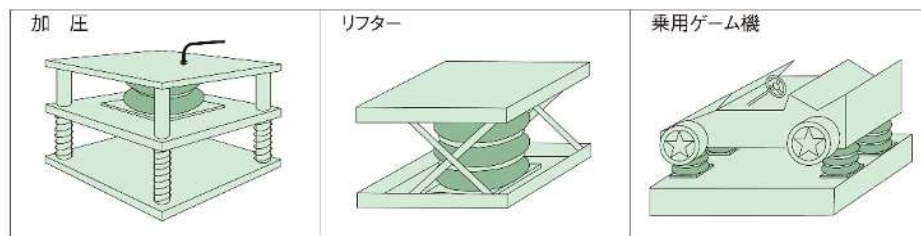
**2段・3段型はアクチュエータ用途のみでの使用とし、防振・除振用途では使用しないでください。**

機器が転倒する恐れがあります。

**また、標準高さ以上で10分以上の保持はしないでください。**

空気ばねが破損することがあります。

<アクチュエータ用途の利用例>



# 空気ばね PSBシリーズ 使用上の注意

 **注意事項：ご使用の際は、下記の項目にご注意ください**

## 設置環境

下記の環境で空気ばねを使用することはご遠慮ください。

### ①低温、高温

使用可能雰囲気温度：-20℃～60℃

※40℃を超える環境下では、空気ばねの寿命が短くなる可能性があります。

### ②火気

空気ばねの金属部に溶接を施さないでください。  
熱または火花でゴムベローズ部に傷がつき、破損の原因になる可能性があります。



### ③油類及び薬品

万が一空気ばねに付着した場合は水洗いしてください。



### ④直射日光、潮風、水、海水、塩分

屋外や水中での使用はご遠慮ください。



## 設置状態

- ・平らな面にプレート面全体で荷重を受けるよう設置ください。
- ・防振用途では、0.5MPa以下の内圧で使用してください。
- ・アクチュエータ用途では、0.7MPa以下の内圧で使用してください。この0.7MPaは瞬間最大内圧を含んでいます。
- ・配管チューブにテンションが掛からないようにしてください。
- ・空気ばねのゴムベローズ部に傷をつけないようにご注意ください。異物が接触する恐れがある場合は、保護カバーを設けてください。

## 点検要領

月1回程度、下記の点検を実施ください。

- ★各空気ばねの高さが、当初の設定値から外れていないか。  
空気ばねを密閉で使用する場合は、ゴム膜から空気が透過するため空気が抜けて徐々に高さが低下します。当初の設定値から外れている場合は空気を入れて高さの再調整を行ってください。
- ★ゴムベローズの表面に傷や異常な膨れがないか。  
万が一、傷等が発見された場合は、ただちに使用を中止し、交換等の適切な処置をとってください。
- ★ゴムベローズ部が汚れていないか。  
汚れている場合は、掃除を行ってください。